

中学生の「税についての作文」

大木町教育長賞

税の大切さ

大木町立大木中学校

三年 柴原 健 人

税は私たちの日常生活の中で非常に重要な役割を果たしています。政府が国や地域を運営するために必要な資金を集める手段であり、公共サービスの提供や社会福祉の充実に寄与しています。税金の制度は、国によって異なりますが、基本的な考え方や目的は共通しています。それは、富を再分配し、社会的な公平を実現することです。

まず、税金の種類について考えてみましょう。一般的には、直接税と間接税の二つに大別されます。直接税は、所得税や法人税、相続税など、納税者の所得や資産に基づいて課税されるものです。これに対して、間接税は消費税や酒税、タバコ税など、商品の取引や消費に対して課税されるものです。直接税は主に高所得者に負担を求めらるもので、多くの場合、累進課税制度が採用されます。これにより、所得が高い人ほど高い税率が適用されるため、ある程度の富の再分配が行われるのです。

税金の役割は、単に資金を集めるだけではありません。公共インフラ整備や教育、医療、安全保障など、国民生活の基盤とも言えるサービスを提供するために不可欠なものです。たとえば、私たちが利用する道路や橋、公共交通機関は、税金

によって支えられています。

また、学校や病院、福祉施設なども税金を元に運営されており、国民が安心して生活できる社会を築くための重要な要素となっています。

しかし、税金に対する意識は国民によってさまざまです。一部の人々は税金を支払うことに対して厳しい視線を向けがちですが、税金がなければ社会が成り立たないことを理解することが重要です。特に、最近の新型コロナウイルスの影響により、多くの国で経済的な困難が生じています。このような状況下で、税金を用いた経済対策や社会保障の拡充が求められています。税金を通じて支え合うことで、私たちの社会はより強固になるのです。

税金の使用については、透明性や公正さが求められます。税金がどのように使われているのかを国民が理解し、監視することは、政府に対する信頼を築くためにも重要です。予算の使い道や税金の使われ方に関する情報は、積極的に公開されるべきです。また、市民も税金の使い道に関心を持ち、意見を述べることでより良い社会をつくる一助となるでしょう。今後、税制改革や税収の効率的な使い方が求められる時代が訪れるでしょう。特に、環境問題やデジタル社会の進展に伴い、これまでの税制では対応しきれない課題が浮上するところが予想されます。例えば、温暖化の進行に対処するための環境税や、デジタルサービスに対する課税の仕組みが必要です。

最終的に、より良い社会を築くために共に努力していかなくてはなりません。税金は私たちの生活を支えるものであり、より良い未来を創造するための重要な手段なのです。